

4. 運転するときは

● エンジン始動

エンジンスイッチの各位置のはたらき	4-2
エンジンイモビライザー	4-3
プッシュエンジンスターター	4-4
エンジンのかけかた	4-8

● パーキングブレーキ

パーキングブレーキの操作	4-13
--------------------	------

● オートマチック車

セレクトレバーの操作	4-15
オートマチック車の特性	4-18
オートマチック車を運転するとき	4-19
オートマチック車の運転のしかた	4-20

● ABS

ABS装備車の取扱い	4-24
------------------	------

● 運転補助機能

タイヤ空気圧警告システム	4-27
--------------------	------

● アイドリングストップ

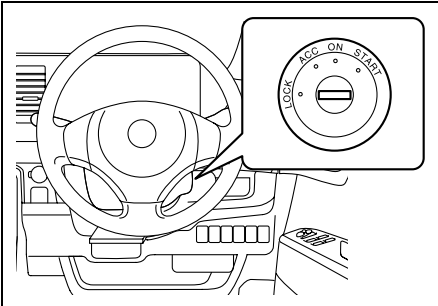
アイドリングストップ	4-29
ヒルスタートアシスト	4-33

安全運転が第一

お車に装備されているシートベルト、SRSエアバッグシステム、ABS（アンチロックブレーキシステム）などの安全装備も、乗員の安全確保には限界があります。法定速度を厳守するとともに、スピードを控えめにして安全運転に心がけてください。

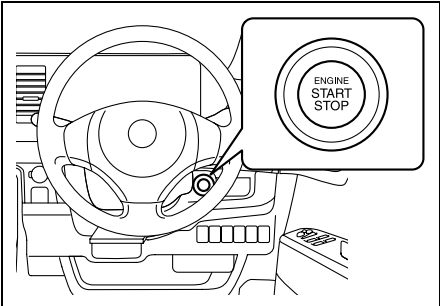
エンジンスイッチの各位置のはたらき

プッシュエンジンstarter非装備車



50M0072

プッシュエンジンstarter装備車



50M0073

4

位置	エンジンの状態	プッシュエンジンstarter非装備車	プッシュエンジンstarter装備車
LOCK (OFF)	停止	駐車するとき、キーを抜き差しするときの位置です。キーを抜くと、ハンドルロックがかかります。	駐車するときの位置です。エンジンスイッチを LOCK (OFF) にもどしていずれかのドアを開閉すると、ハンドルロックがかかります。
ACC	停止	エンジンをかけずにオーディオやドアミラー、電源ソケットなどの電装品（タイプ別装備）を使用するときの位置です。	エンジンをかけずにオーディオやドアミラー、電源ソケットなどの電装品（タイプ別装備）を使用するときの位置です。メーター内の ACC 表示灯が点灯します。
ON	停止	エンジンをかけずにパワーウィンドーやワイパーなどの電装品を使用するときの位置です。	エンジンをかけずにパワーウィンドーやワイパーなどの電装品を使用するときの位置です。メーター内の IG ON 表示灯などが点灯します。
	回転中	すべての電装品が使えます。通常運転中の状態です。	すべての電装品が使えます。通常運転中の状態です。IG ON 表示灯は点灯しません。
START	始動	エンジンをかけるときの位置です。始動したら、キーから手を離してください。キーは自動的に ON にもどります。	携帯リモコンを所持してセレクタレバーを P にし、ブレーキを踏んでエンジンスイッチを押すと、自動的に始動します。

注 記

エンジンを止めているときは、エンジンスイッチを **ACC** または **ON** にしたままにしないでください。また、その状態で長時間ラジオ（タイプ別装備）などを聞かないでください。バッテリーあがりの原因となります。

アドバイス

- ハンドルロックは通常、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) から **ACC** または **ON** にしたときに解除されます。
- プッシュエンジンスターター装備車の場合、強い電波やノイズの影響を受けると、メーター内のプッシュ表示灯  が点滅して、電源の切替えやエンジンの始動ができない場合があります。

ハンドルロックが解除できないときは

■ プッシュエンジンスターター非装備車

キーが **LOCK** (OFF) から **ACC** にまわさせません。ハンドルを左右に軽く動かしながら、キーをまわしてください。

■ プッシュエンジンスターター装備車

エンジンの始動ができません。ハンドルを左右に軽く動かしながら、エンジンスイッチを押してください。



64L40180

エンジンイモビライザー

プッシュエンジンスターター非装備車

エンジンイモビライザーは盗難防止のため、キーが電波で車両と通信することによって、あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンを始動できないようにするシステムです。

- 次のような場合は、キーからの信号が車両が正確に受信できず、エンジンの始動ができないことがあります。
 - キーグリップが金属製のものと接触しているとき
 - キーが他のキーと近いときや重なっているとき
- 3-2ページ (キー)

■ エンジンイモビライザー警告灯



64L30690

メーターパネル内にあります。

→ 3-65ページ

(警告灯・表示灯の見かた)

- エンジンの始動が可能な場合は、エンジンスイッチを **ON** にしたときに、約2秒間点灯したあと消灯します。点滅すると、エンジンの始動ができません。
- 点滅した場合は、一度エンジンスイッチをもどして、再度エンジンスイッチを **ON** にしてください。それでも点滅する場合は、システムの異常が考えられます。日産販売会社にご連絡ください。

プッシュエンジンスターター 装備車

エンジンイモビライザーは盗難防止のため、携帯リモコンが電波で車両と通信することによって、あらかじめ登録されたリモコン以外ではエンジンを始動できないようにするシステムです。

■ エンジンイモビライザー 警告灯



64L30690

メーターパネル内にあります。

→ 3-65ページ

(警告灯・表示灯の見かた)

- エンジンの始動が可能な場合は、エンジンをかけるときに、約 2 秒間点灯したあと消灯します。点滅または約 5 秒間点灯すると、エンジンがかからない場合があります。携帯リモコンの場所を確認し、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどしてから、操作をやりなおしてください。

→ 4-10 ページ (プッシュ表示灯が点滅してエンジンがかからないときは)

- 携帯リモコン車外持ち出し警告が作動したときにも点滅します。

→ 4-7 ページ (携帯リモコン車外持ち出し警告)

プッシュエンジン スターター

タイプ別装備

所持している携帯リモコンが「**車内の作動範囲**」(4-8 ページ参照)に入っていると、エンジンスイッチによる始動および電源の切替えが可能となります。また、その他に次の機能があります。

- リモートコントロールエントリーシステム

→ 3-9 ページ (リモートコントロールエントリーシステム)

- リクエストスイッチによるドアの施錠・解錠

→ 3-12 ページ (携帯リモコン)

- エンジンイモビライザー (車両盗難防止装置)

→ 4-3 ページ

(エンジンイモビライザー)

ACC表示灯

82K097

メーターパネル内にあります。

- エンジンスイッチが **ACC** 位置にあると点灯します。

→ 3-65ページ

(警告灯・表示灯の見かた)

→ 4-5ページ

(電源の切替えのしかた)

IG ON表示灯

ON

82K098

メーターパネル内にあります。

- エンジン停止状態で、エンジンスイッチが **ON** 位置にあると点灯します。
→ **3-65ページ**
(警告灯・表示灯の見かた)
→ **4-5ページ**
(電源の切替えのしかた)

プッシュ表示灯



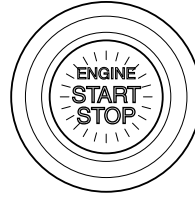
82K174

メーターパネル内にあります。

- ブレーキペダルを踏んで点灯したときは、通常エンジンの始動が可能です。ただし、始動できず点滅したときは、**4-10 ページ**の「**プッシュ表示灯が点滅してエンジンがかからないときは**」をお読みください。
- ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチを押して点滅したときは、**4-6 ページ**の「**プッシュ表示灯が点滅して電源が切り替わらないときは**」をお読みください。

エンジンスイッチ照明

- 運転席ドアを開けると点灯します。
- 運転席ドアを閉めると約 15 秒間点灯し、徐々に減光しながら消灯します。



82K253

4

⚠️ アドバイス

バッテリー保護のため、運転席ドアを閉め忘れて点灯させたままにしているも、約15分が経過すると自動的に消灯します。(バッテリーセーバー機能)

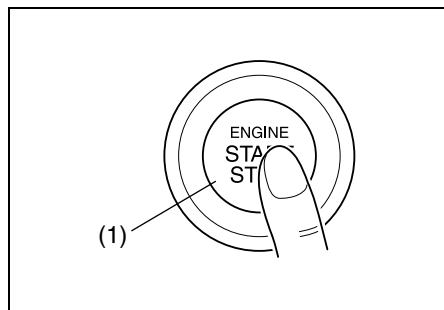
電源の切替えのしかた

エンジンをかけずに電装品の使用やメーターの確認をしたいときは、次のようにしてエンジンスイッチの位置を切り替えます。

なお、この切り替えのことを「**電源の切替え**」といいます。

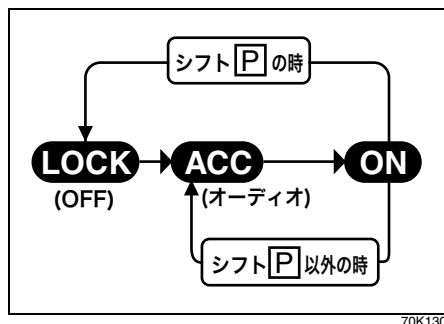
1 携帯リモコンを所持して運転席に座ります。

2 ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチ (1) を押します。



82K254

- 押すごとに次のようにエンジンスイッチの位置が切り替わります。



70K130

⚠️ アドバイス

- セレクトレバーが **P** 以外の位置にあると、**LOCK** (OFF) にはもどせません。
- ハンドルロックの故障などで、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどせないことがあります。
→ 4-12 ページ (エンジンスイッチをもどすときは)

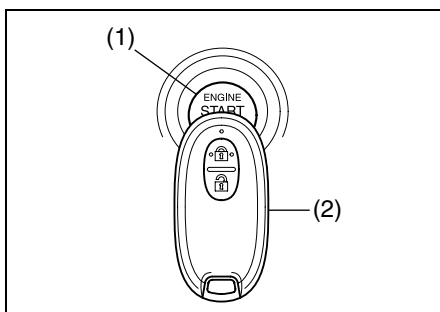
■ プッシュ表示灯 が点滅して電源が切り替わらないときは

携帯リモコンが「車内の作動範囲」(4-8 ページ参照) で検知されていないことが考えられます。運転者は携帯リモコンを身につけ、メーター内のプッシュ表示灯  の消灯後、操作をやり直してください。それでも切り替わらないときは、携帯リモコンの電池切れのおそれがあります。次の手順で切り替えてください。

1 ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチ (1) を押します。

2 メーター内のプッシュ表示灯  が点滅している約 10 秒以内に、携帯リモコン (2) の先端 (ロックスイッチ側) をエンジンスイッチに約 2 秒間あてます。

- プッシュ表示灯  の点滅中に、エンジンイモビライザー警告灯が約 5 秒間点灯します。



64L40030

※前記の手順を何度繰り返しても切り替わらないときは、バッテリーあがりなどの別の原因が考えられます。日産販売会社にご連絡ください。

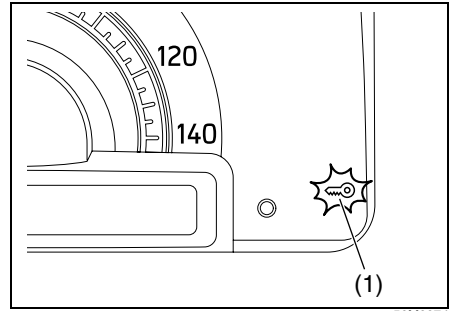
⚠️ アドバイス

- 設定の切替え（カスタマイズ）をすると、携帯リモコン検出範囲外警告ブザー（室内ブザー）を1回鳴らすことができます。設定の切替えについては、日産販売会社にご相談ください。
- 携帯リモコンの電池切れが近いと、エンジンスイッチを **ON** にしたときに、メーター内の携帯リモコン電池消耗警告灯が約15秒間点灯します。
→ **3-13ページ**
（携帯リモコン電池消耗警告灯）
→ **6-6ページ**
（リモコンキーの電池交換）

携帯リモコン車外持ち出し警告

次のような場合、室内／車外ブザーが約2秒間断続的に鳴るとともに、メーター内のエンジンイモビライザー警告灯が点滅し、携帯リモコンの車外持ち出しを警告します。

- エンジン回転中、またはエンジンスイッチが **ACC** または **ON** 位置にある状態で、いずれかのドアを開け、そのあとすべてのドアを閉めたときに携帯リモコンが車内にない場合
- エンジンスイッチが **ACC** または **ON** 位置にある状態で、エンジンをかけようとしたときに携帯リモコンが車内にない場合



(1) エンジンイモビライザー警告灯(点滅)

警告が作動したときは、すみやかに携帯リモコンの場所を確認してください。

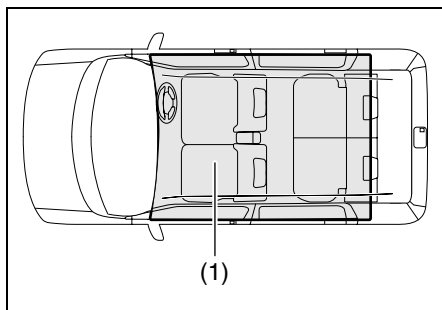
- 警告の作動中は、エンジンの再始動ができません。
- エンジンイモビライザー警告灯の点滅は、通常、携帯リモコンが車内にもどってきてから少しすると消灯します。消灯しない場合は、一度エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどしてから再操作してください。

⚠️ アドバイス

携帯リモコンは運転者が所持し、管理してください。

エンジン始動／電源切替え／ 携帯リモコン車外持ち出し警 告の作動範囲（車内）

「車内の作動範囲」（1）は、インパネの上や荷室などを除く車室内です。



70K172

⚠️ アドバイス

- 「車内の作動範囲」に携帯リモコンがあっても、次のような状況にあるとリモコンが検知されず、エンジン始動や電源切替えができない場合があります。また、携帯リモコン車外持ち出し警告が作動する場合があります。
 - 携帯リモコンの電池が消耗している
 - 携帯リモコンが強い電波やノイズの影響を受けている
 - 携帯リモコンが金属製のものと接していたり、覆われたりしている
 - 携帯リモコンが次のような小物入れの中にある
 - ・ インパネのトレイやボックス
 - ・ グローブボックス
 - ・ ドアポケット
 - 携帯リモコンがメーターパネルの手前やサンバイザー、床にある

- 「車内の作動範囲」に携帯リモコンがなくても、次のような状況にあるとリモコンが検知され、エンジン始動や電源切替えができる場合があります。また、携帯リモコン車外持ち出し警告が作動しない場合があります。

- 車外に携帯リモコンがあっても、ドアに近づきすぎている
- 携帯リモコンがインパネの上や荷室にある

エンジンのかけかた

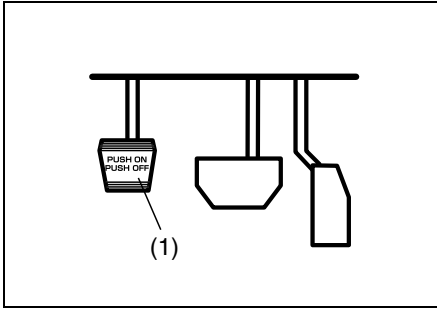
2-10 ページの「エンジンをかけるときは」もあわせてお読みください。

⚠️ アドバイス

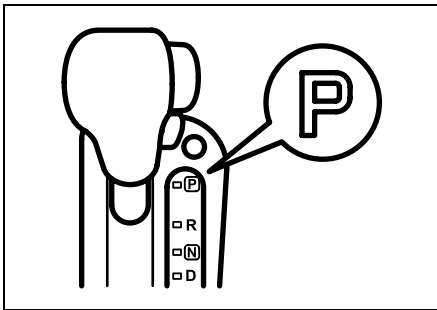
- ヘッドランプやエアコンなどのスイッチを切った方が、エンジンはかかりやすくなります。
- ハンドルロックが解除できなくて、エンジンの始動ができない場合があります。
→ 4-3 ページ（ハンドルロックが解除できないときは）

プッシュエンジンスターター 非装備車

- 1 パーキングブレーキ (1) がしっかりかかっていることを確認します。

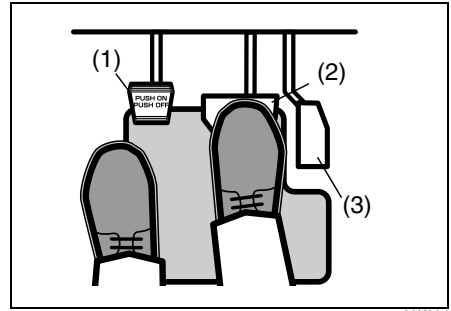


- 2 セレクトレバーが **P** になっていることを確認します。

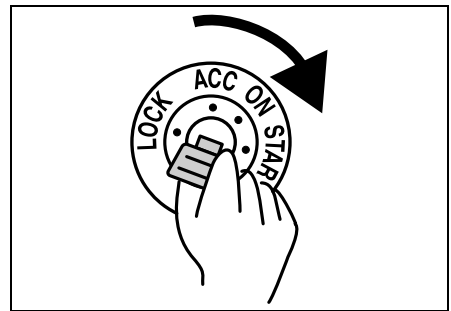


- 3 右足でブレーキペダル (2) をしっかり踏み続けます。

- アクセルペダル (3) は踏まないでください。



- 4 キーをエンジンスイッチに差し込み **START** までまわします。



- エンジンがかかったら、すみやかにキーから手を離します。

※前記の手順を何度繰り返してもエンジンがかからないときは、バッテリーあがりなどの別の原因が考えられます。日産販売会社にご連絡ください。

注 記

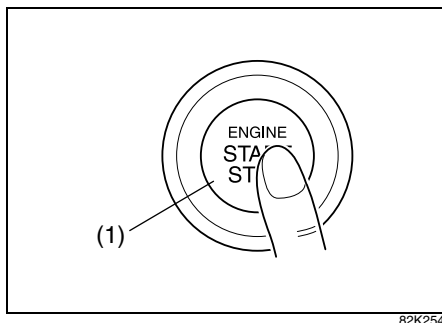
バッテリー保護のため、キーを **START** にまわした状態を 8 秒以上続けしないでください。エンジンがかからないときは、キーを一度 **ACC** にもどし、10 秒以上待ってから再びかけてください。

プッシュエンジンスターター 装備車

①、②、③は、プッシュエンジンスターター非装備車と同じ操作です。

④ メーター内のプッシュ表示灯  が点灯したら、エンジンスイッチ (1) を押します。エンジンがかかったら、スターターは自動的に停止します。

- エンジンがかからなくても、スターターはしばらくすると自動的に停止します。自動停止後またはシステム異常時は、エンジンスイッチを押している間だけ、スターターがまわります。



■ プッシュ表示灯 が点滅してエンジンがかからないときは

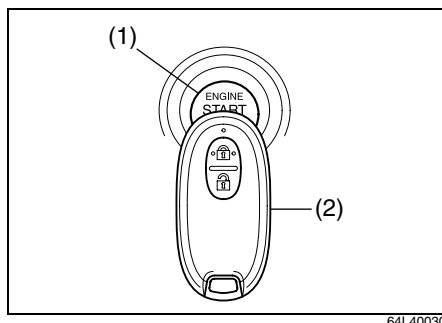
携帯リモコンが「車内の作動範囲」(4-8 ページ参照) で検知されていないことが考えられます。運転者は携帯リモコンを身につけ、メーター内のプッシュ表示灯  の消灯後、操作をやり直してください。それでもエンジンがかからないときは、携帯リモコンの電池切れのおそれがあります。次の手順を行なってください。

① セレクトレバーが **P** にあることを再確認し、ブレーキペダルをしっかり踏み続けます。

② メーター内のプッシュ表示灯  が点灯したら、エンジンスイッチ (1) を押します。

③ メーター内のプッシュ表示灯  が点滅している約 10 秒以内に、携帯リモコン (2) の先端 (ロックスイッチ側) をエンジンスイッチに約 2 秒間あてます。

- プッシュ表示灯  の点滅中に、エンジンイモビライザー警告灯が約 5 秒間点灯します。



※前記の手順を何度繰り返してもエンジンがかからないときは、バッテリーあがりなどの別の原因が考えられます。日産販売会社にご連絡ください。

🔧 アドバイス

- 設定の切替え（カスタマイズ）をすると、携帯リモコン検出範囲外警告ブザー（室内ブザー）を1回鳴らすことができます。設定の切替えについては、日産販売会社にご相談ください。
- 携帯リモコンの電池切れが近いと、エンジンスイッチを **[ON]** にしたときに、メーター内の携帯リモコン電池消耗警告灯が約15秒間点灯します。
 - 3-13ページ
(携帯リモコン電池消耗警告灯)
 - 6-6ページ
(リモコンキーの電池交換)

■ プッシュエンジンスターター非装備車

エンジンスイッチを **[ACC]** にもどします。

■ プッシュエンジンスターター装備車

車両の状態	エンジン停止方法
停車中	エンジンスイッチを押す
走行中 (緊急時)	エンジンスイッチを3連打以上、または2秒以上長押しする

- 停車中にエンジンを停止できないときは、エンジンスイッチを3連打以上、または2秒以上長押ししてください。この場合、システムの異常が考えられますので、日産販売会社で点検を受けてください。

エンジン止めるときは

⚠ 警告

緊急時以外は、走行中にエンジンを止めないでください。

- ブレーキ倍力装置が働かないため、ブレーキペダルを踏むときに強い力が必要になります。
- パワーステアリング装置が働かないため、ハンドルが重くなります。
- ABSが作動しません。

注 記

走行中にエンジンを止めると、オートマチックトランスミッションが損傷するおそれがあります。

キーを抜くときは

プッシュエンジンスターター非装備車

- 1 セレクトレバーを **[P]** 位置に入れ、セレクトレバーのボタンから手を離します。

→ 4-15ページ

(セレクトレバーの操作)

- 2 キーを **[LOCK]** (OFF) にもどしてキーを抜きます。

- キーを抜くと、ハンドルロックがかかります。
- 誤操作防止のため、次の条件をみたしているときだけキーが抜けます。
 - セレクトレバーが **[P]** 位置
 - セレクトレバーのボタンから手を離している

→ 4-19ページ

(キーインターロック)

→ 4-23ページ (駐車)

■ キー抜き忘れ警告ブザー

キーの抜き忘れを防止するためのブザーです。

- キーを **[ACC]** または **[LOCK]** (OFF) にしたまま運転席ドアを開けると、室内ブザーが“ピー、ピー、”と断続的に鳴ります。
- キーを抜くと、室内ブザーが止まります。

エンジンスイッチをもどすときは

プッシュエンジンスターター装備車

- 1 セレクトレバーを **[P]** 位置に入れ、セレクトレバーのボタンから手を離します。

→ 4-15ページ

(セレクトレバーの操作)

- 2 エンジンスイッチを押して **[LOCK]** (OFF) にもどします。

- エンジンスイッチを **[LOCK]** (OFF) にもどしていずれかのドアを開閉すると、ハンドルロックがかかります。
- 誤操作防止のため、次の条件をみたしているときだけエンジンスイッチを **[LOCK]** (OFF) にもどせます。
 - セレクトレバーが **[P]** 位置
 - セレクトレバーのボタンから手を離している

- 誤操作防止のため、次のようなときはエンジンスイッチを **[LOCK]** (OFF) にもどせません。

- セレクトレバーの位置が **[P]** 以外
- セレクトレバーの位置が **[P]** にあっても、セレクトレバーのボタンを押しているとき

→ 4-23ページ (駐車)

- ハンドルロックの故障などで、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどせないことがあります。日産販売会社で点検を受けてください。なお、点検前には次の作業をしてください。
- 盗難を防ぐため、キー操作にてドアを施錠してください。(リクエストスイッチやリモートコントロールエントリーシステムでは施錠できません)
- バッテリーあがりを防ぐため、バッテリーのマイナス端子を外してください。(10mm スパナなどの市販工具が必要です)

■ エンジンスイッチもどし忘れ警告ブザー

エンジンスイッチのもどし忘れを防止するためのブザーです。

- エンジンスイッチを **ACC** にしたまま運転席ドアを開けると、室内ブザーが“ピー、ピー、”と断続的に鳴ります。
- セレクトレバーを **P** 位置に入れ、セレクトレバーのボタンから手を離します。エンジンスイッチを2回押して **LOCK** (OFF) にもどすと、室内ブザーが止まります。

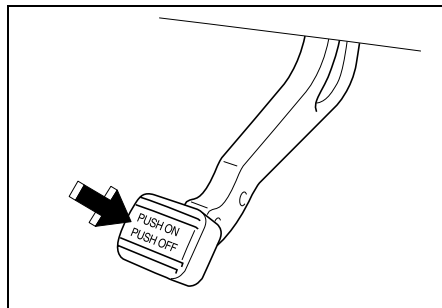
LOCK (OFF) にもどさないと、リクエストスイッチや携帯リモコンでドアが施錠できません。

■ ハンドルロック未作動警告ブザー

故障などで、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどしていずれかのドアを開閉してもハンドルがロックされない場合、運転席ドアを開けると、室内ブザーが“ピッ、ピッ、”と断続的に鳴ります。日産販売会社で点検を受けてください。

パーキングブレーキの操作

パーキングブレーキは後輪にかかります。駐車するときはパーキングブレーキをしっかりとかけてください。



50M0075

4

駐車するときは

右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをいっぱいまで踏み込みます。

- パーキングブレーキをかけるときは、確実にブレーキが効くまで一気に踏み込んでください。
- 一気に踏み込まないで途中でペダルから足を離してしまったときは、一度解除してから、同じ手順で再度踏み込んでください。

⚠ 警告

- 走行中は、パーキングブレーキペダルを踏まないでください。急ブレーキをかけた状態になり、事故を起こすおそれがあります。
- 走行中は、パーキングブレーキペダルに足をのせないでください。カーブを曲がるときなどに足に力がかかり、踏み込んでしまうおそれがあります。

⚠ 注意

- パーキングブレーキの効きを強くしようとして、2度踏みをしてしないでください。2度踏みをする、ペダルがもどってパーキングブレーキが解除されます。
- パーキングブレーキを解除するときは、右足でブレーキペダルを踏んでください。

■ パーキングブレーキをさらに強く効かせたいときは

- 1 右足でブレーキペダルを強く踏んだままにします。
- 2 左足でパーキングブレーキを踏んで解除してから、再度踏み込みます。

解除するときは

- 右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをカチッと音がするまで踏み、ゆっくりと離します。
- 坂道発進するときは、左足でパーキングブレーキペダルをカチッと音がするまで踏んでおき、右足でアクセルペダルを慎重に踏み、車が動きだす感触を確認しながらパーキングブレーキペダルをゆっくりとどしてください。

⚠ 警告

パーキングブレーキを解除したときは、メーター内のブレーキ警告灯が消灯しているか確認してください。万一、パーキングブレーキをかけたまま走行した場合、ブレーキ装置が過熱してブレーキが効かなくなるおそれがあります。

→ 3-66ページ（ブレーキ警告灯）

■ パーキングブレーキ解除忘れ警告ブザー

パーキングブレーキを解除し忘れたまま走行すると、室内ブザーが“ピピピッ、ピピピッ”と鳴り続けます。

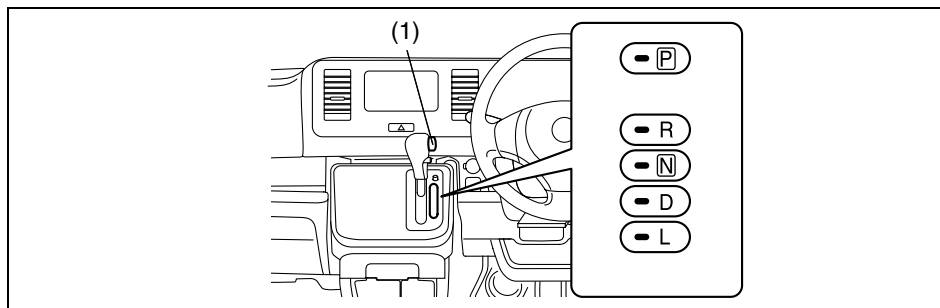
⚠ 警告

警告ブザーが鳴ったときは、ただちに安全な場所に停車し、パーキングブレーキを解除してください。走行中の解除は、操作に気を取られて思わぬ事故を起こすおそれがあります。

セレクトレバーの操作

※本書で「オートマチック車」と記載されている場合、「CVT車」を示しています。

セレクトレバーの各位置のはたらき

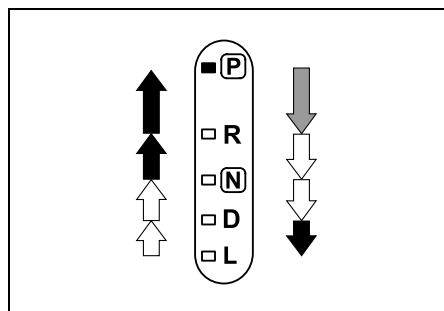


50M0076

(1) ボタン

P パーキング	駐車するとき、エンジンを始動・停止するとき、プッシュエンジンスターター非装備車のキーを抜くときの位置 ● 駆動輪（前輪）が固定されます。
R リバース	車を後退させるときの位置 ● 室内で警告ブザーが鳴り、運転者にセレクトレバーが R に入っていることを知らせます。
N ニュートラル	エンジンの動力が伝わらない状態の位置 ● エンジンを始動できますが、安全のため P の位置で始動してください。
D ドライブ	通常走行の位置 ● 車の速度とアクセルペダルの踏み込み量により、自動的に変速され走行できます。
L ロー	強力なエンジンブレーキを効かせるときなどの位置 ● 急な下り坂を走行するときなどに使用します。

セレクトレバーの動かしかた



70K194

4



ブレーキペダルを踏み、ボタンを押したままセレクトレバーを動かします。



ボタンを押さずにセレクトレバーを動かします。



ボタンを押したままセレクトレバーを動かします。

注 記

完全に停車させてから、セレクトレバーを **R** に入れてください。車が動いていると、トランスミッションが故障する原因となります。なお、トランスミッション保護のため、前進車速が約 10km/h 以上のときは変速されません。(ニュートラルのまま)

アドバイス

↑ ↓ の操作は、セレクトレバーのボタンを押さない習慣をつけてください。常にボタンを押して操作していると、間違っ **P R L** へ入れてしまうおそれがあります。

■ シフトロックシステム

発進するときなどに、セレクトレバーの誤操作を防ぐシステムです。

- エンジンスイッチが **ON** でブレーキペダルを踏んでいるときだけ、セレクトレバーを **P** から他の位置に動かせます。
- エンジンスイッチが **ACC** または **LOCK** (OFF) のときは、ブレーキペダルを踏んでも、セレクトレバーを **P** から他の位置に動かせません。
- セレクトレバーのボタンを押してから、ブレーキペダルを踏まないでください。シフトロックが解除されないことがあります。
- 万一、エンジンスイッチを **ON** にして、ブレーキペダルを踏んでもセレクトレバーを **P** から他の位置へ動かせない場合、次の手順でシフトロックを解除してください。
この場合は、シフトロックシステムなどの故障が考えられます。ただちに日産販売会社で点検を受けてください。

▲ 注意

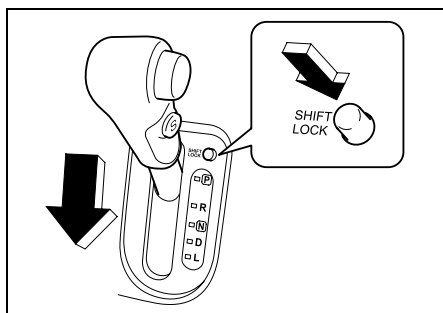
発進するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んだままセレクトレバーを操作してください。

■ シフトロックの解除のしかた

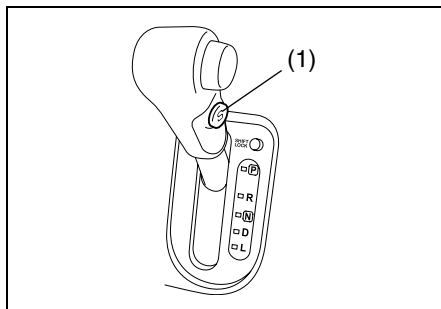
シフトロックシステムの故障やバッテリーあがりなどで、セレクトレバーを[P] から他の位置へ動かさせないときは、次の手順でシフトロックを解除します。

- 1 安全のため、エンジンスイッチを[ACC]にしてパーキングブレーキをしっかりとかけ、ブレーキペダルを踏んだ状態にします。

- 2 セレクトレバーパネルにあるシフトロック解除ボタンを押しながら、セレクトレバーを操作します。



82K378



85K2054

(1) S(スポーツ)モードスイッチ

■ スイッチがONのとき

坂道や山間路の走行に適しています。

- 下り坂では、エンジンブレーキがかかります。
- 上り坂や山間路ではエンジン回転数を高く保ち、エンジン回転の変化が少ない力強くなめらかな走行ができます。

■ スイッチがOFFのとき

通常走行に適しています。

- 燃費性能と静粛性の高い走行ができます。

S (スポーツ) モードスイッチ

- スイッチを押すごとに、ON と OFF が切り替わります。
- ON のとき、メーター内の S (スポーツ) モード表示が表示されます。
- S(スポーツ)モードスイッチは、エンジン始動時にはOFF状態にもどります。

■ S（スポーツ）モード表示

S

50M0061

メーターパネル内にあります。

- S（スポーツ）モードスイッチがONのときに表示されます。

→ 3-65ページ

（警告灯・表示灯の見かた）

4

オートマチック車の特性

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤチェンジから解放されて運転操作が楽になりますが、オートマチック車特有の現象や操作上の注意があります。

クリーブ現象に注意して

エンジンをかけて停車しているとき、セレクトレバーが **P** **N** 以外に入っていると、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくり動きます。これをクリーブ現象といいます。

▲ 注意

- セレクトレバーを **P** **N** 以外に入れているときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。
- エンジン始動直後やエアコン作動時は、クリーブ現象が強くなる場合があります。とくにしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

ℳ アドバイス

CVT車もクリーブ現象があります。

キックダウン

走行中（低車速時を除く）にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的にシフトダウンしてエンジン回転が上昇して、力強い加速ができます。これをキックダウンといいます。

- 追い越しなどをするときは、アクセルペダルをいっぱい踏み込みます。キックダウンして力強い加速が得られます。

▲ 注意

通常の加速をするときは、アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。いっぱい踏み込むと、キックダウンして思わぬ急加速のおそれがあります。

登降坂変速制御

セレクトレバーが **D** の位置で作動する制御です。

- 登坂中と判断するとシフトダウンしてエンジン回転数を高く保ち、少ないアクセル操作でなめらかな走行ができます。
- 降坂中と判断するとシフトダウンし、エンジンブレーキがかかります。

キーインターロック

ブッシュエンジンスターター非装備車

誤操作防止のため、次の条件をみたしているときだけキーが抜けます。これをキーインターロックといいます。

- セレクトレバーが **[P]** 位置
- セレクトレバーのボタンから手を離している

→ 4-12ページ

(キーを抜くときは)

オートマチック車を運転するとき

トランスミッション警告灯



80J219

メーターパネル内にあります。

- CVTのシステムに異常があると、エンジンスイッチが **[ON]** のときに点灯します。

→ 3-65ページ

(警告灯・表示灯の見かた)

[R] (リバース) ポジション警告ブザー

セレクトレバーを **[R]** に入れると室内で警告ブザーが鳴り、セレクトレバーが **[R]** に入っていることを運転者に知らせます。

⚠️ アドバイス

[R] (リバース) ポジション警告ブザーは、車外の人に車の後退を知らせるためのものではありません。

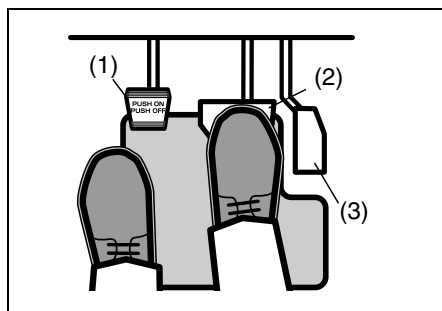
ペダルの踏み間違いに注意

ペダルの踏み間違いを防ぐため、エンジンをかける前にアクセルペダルとブレーキペダルを実際に足で踏んで、位置を確認してください。

⚠️ 警告

アクセルペダルとブレーキペダルを踏み間違えると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ブレーキペダルは右足で踏む



82K004

(1) パーキングブレーキペダル

(2) ブレーキペダル

(3) アクセルペダル

左足では適切なブレーキ操作ができません。ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけてください。

セレクトレバーを操作するとき

- 前進と後退を繰り返すときなどは、セレクトレバーを **[R]** に入れたことを忘れることがあります。車を後退させたあとは、すぐに **[R]** から **[N]** に入れる習慣をつけてください。
- 切り返しなどで前進と後退を繰り返すときは、完全に停車してからセレクトレバーを操作してください。

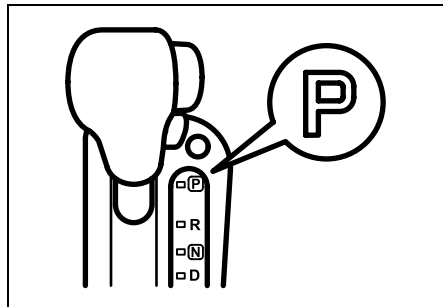
⚠ 警告

アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しないでください。急発進して事故を起こすおそれがあります。

セレクトレバーの位置は目で確認

始動時や降車時は **[P]**、前進時は **[D]**、後退時は **[R]** にあることを目で確認してください。

車から離れるときは



82K311

⚠ 警告

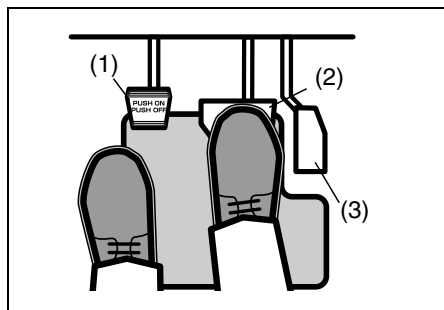
エンジンをかけたまま車から離れないでください。万一、セレクトレバーが **[P]** 以外に入っていると、車がひとりでに動き出すおそれがあります。また、車に乗り込むときに誤ってセレクトレバーを動かしたりアクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ急発進のおそれがあります。

オートマチック車の運転のしかた

4-15 ページの「セレクトレバーの操作」もあわせてお読みいただき、正しい取扱いをしてください。

運転席にすわって

- 1 ペダルが確実に踏めて、ハンドル操作が楽に行なえる位置にシートを調節し、ハンドルを調節（タイプ別装備）します。
→ 3-26ページ（前席シート）
→ 3-25ページ（チルトステアリング）
- 2 アクセルペダル（3）とブレーキペダル（2）の位置を右足で確認します。
- 3 パーキングブレーキペダル（1）の位置を左足で確認します。

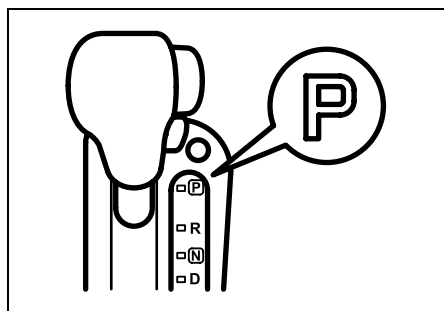


82K004

エンジンの始動

エンジンのかけかたの詳細は、**4-8 ページ**の「エンジンのかけかた」をお読みください。

- 1 パーキングブレーキをしっかりとかけます。
- 2 セレクトレバーが **[P]** にあるか確認します。



82K311

⚠️ アドバイス

セレクトレバーが **[N]** の位置でもエンジンがかかりますが、安全のため **[P]** でエンジンをかけてください。

- 3 ブレーキペダルを右足で踏みます。
- 4 エンジンを始動します。

発進

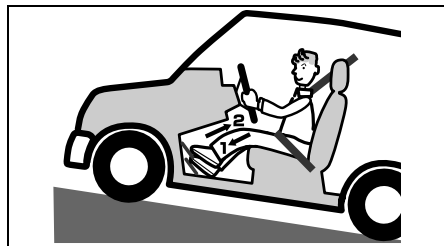
■ 通常の発進

- 1 ブレーキペダルを右足でしっかり踏み込みます。
- 2 前進時は **[D]**、後退時は **[R]** にセレクトレバーを入れ、レバーの位置を目で確かめます。
- 3 パーキングブレーキを解除し、メーター内のブレーキ警告灯の消灯を確認します。
- 4 ブレーキペダルからゆっくりと足を離し、アクセルペダルをゆっくり慎重に踏んで発進します。

■ 急な上り坂での発進

- 1、2 は「通常の発進」と同じ操作です。
- 3 左足でパーキングブレーキペダルをカチッと音がするまで踏みます。
- 4 ブレーキペダルからゆっくりと右足を離し、アクセルペダルを慎重に踏みます。

- 5 車が動きだす感触を確認しながら、パーキングブレーキペダルをもどして発進します。



アドバイス

ヒルスタートアシスト装備車の場合、急な上り坂での発進時に車が後退することを一定時間防ぐ機能があります。

→ 4-33ページ

(ヒルスタートアシスト)

走行

■ 通常走行

セレクトレバーを **[D]** に入れて発進すると、走行速度とアクセルペダルの踏み込み量により、自動的に変速され走行できます。

⚠ 注意

緊急時以外は、走行中にセレクトレバーを **[N]** にしないでください。エンジンブレーキがまったく効かないため、思わぬ事故の原因となります。

■ 急加速走行

追い越しなどをしたいときは、アクセルペダルをいっぱい踏み込みます。キックダウンして力強い加速が得られます。

■ 上り坂走行

上り坂を **[D]** で走行しているときに、スピードを保つためにアクセルペダルを踏み込んでいくと、キックダウンしてエンジンの回転が急に上がることがあります。

- 坂の勾配に応じて、あらかじめ **S** (スポーツ) モードスイッチを **ON** にしておくと、エンジン回転の変化が少ない力強くなめらかな走行ができます。

■ 下り坂走行

下り坂を **[D]** のままで走行すると、エンジンブレーキの効きが弱くてスピードが出すぎてしまうことがあります。

- 坂の勾配に応じて、あらかじめ **S** (スポーツ) モードスイッチを **ON** にしてエンジンブレーキを併用します。
- 急な下り坂で、強力なエンジンブレーキが必要なときには **[L]** に入れます。

⚠ 警告

急な下り坂や長い下り坂では、エンジンブレーキを併用してください。下り坂でブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキ装置が過熱してブレーキが効かなくなるおそれがあります。

一時停止

- 1 セレクトレバーは走行位置のままで停車し、ブレーキペダルをしっかりと踏み込みます。

- 急な坂道で一時停止するときは、必要に応じてパーキングブレーキをかけます。
- 停車時間が長くなりそうなときは、セレクトレバーを **[N]** に入れます。

- 2 再発進するときに間違えないよう、セレクトレバーの位置とパーキングブレーキの解除を目で確かめます。

⚠ 警告

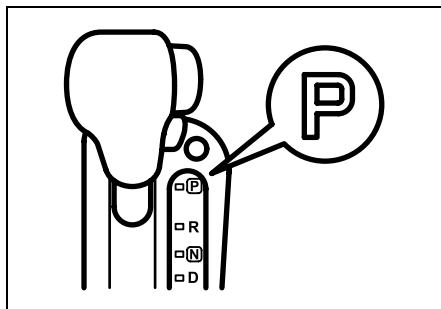
一時停止しているときに、空ぶかしをしないでください。万一、セレクトレバーが **P** **N** 以外に入っていると、急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

注 記

上り坂などで、アクセル操作でバランスを取るなどして車を停止させようとしないでください。トランスミッションオイルが過熱し、故障の原因となります。

駐車

- 1 車を完全に止めます。
- 2 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをしっかりとかけます。
- 3 セレクトレバーを **P** に入れたからエンジン止め、ブレーキペダルからゆっくりと足を離します。
 - セレクトレバーが **P** の位置になっているか目で確かめます。



82K311

⚠ 警告

駐車するときは、セレクトレバーを **P** に入れたからエンジン止めてください。**P** 以外の位置ではシフトロックが作動せず、誤操作などで思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 4 エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどします。プッシュエンジンスターター非装備車は、エンジンスイッチからキーを抜きます。
 - 4-12ページ (キーを抜くときは)
 - 4-12 ページ (エンジンスイッチをもどすときは)

後退

■ 正しい運転姿勢

車を後退させるときは身体をひねった運転姿勢になり、ペダルが踏みにくくなります。ブレーキペダルやアクセルペダルが確実に踏める姿勢で運転操作をしてください。

■ 前進や後退を繰り返すとき

車庫入れなどで前進や後退を繰り返すときは、完全に停車させてから、次の前進あるいは後退の操作を行ってください。

🔊 アドバイス

前進と後退を繰り返すときなどは、セレクトレバーを **[R]** に入れていたことを忘れることがあります。車を後退させたあとは、すぐに **[R]** から **[N]** に入れる習慣をつけてください。

■ 停車するとき

注 記

車が少しでも動いているときは、セレクトレバーを **[P]** に入れないでください。トランスミッションが故障する原因となります。

ABS装備車の取扱い

ABS（アンチロックブレーキシステム）とは

ブレーキをかけたときのタイヤのロックを自動的に防止することで、走行安定性や操舵性を確保しようとする装置です。

⚠ 警告

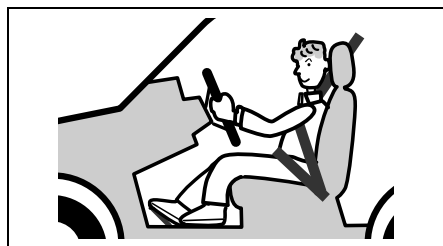
- 常に周囲の状況を確認して、安全運転に努めてください。ABSによる制御には限界があります。
- ABSは、タイヤのグリップ限界を超えたり、ハイドロプレーニング現象（※）が起こったりした場合は効果を発揮できません。

※雨天の高速走行などで、タイヤと路面の間に水膜が発生し、接地力を失ってしまう現象

こんなことにも気をつけて

■ 車を少し移動させるとき

少しだけ移動するときでも、ブレーキペダルやアクセルペダルが確実に踏める正しい運転姿勢をとってください。



80J014

⚠ 注意

坂道などで、セレクトレバーを前進の位置（**[D]** **[L]**）にしたまま惰性で後退したり、後退の位置（**[R]**）にしたまま惰性で前進したりしないでください。エンストしてブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、故障の原因になります。

制動距離について

ABSは制動距離を短くするものではありません。

▲ 注意

- 急ブレーキをかけたときや、滑りやすい路面でブレーキをかけたときの制動距離は、ABSがついていない車と同等です。
- 次のようなときは、ABSのついていない車より制動距離が長くなる場合があります。スピードを控えめにし、車間距離を十分にとってください。
 - ・凸凹道や石だたみなどの悪路
 - ・じゃり道、新雪路
 - ・道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき
 - ・マンホールなど鉄板の上を通過するとき
 - ・タイヤチェーンの装着時
- 急ブレーキ時には、ポンピングブレーキ（※）をせずに、ブレーキペダルを思い切り強く踏み込んでください。ポンピングブレーキをすると、制動距離が長くなります。

※ブレーキペダルを数回に分けて小刻みに踏むブレーキのかけかた
- 路面の状況によりますが、約10km/h以下ではABSが作動しません。

ABS作動時の振動や音

ブレーキペダルを強く踏むと、ブレーキペダル、ハンドル、車体の小刻みな振動を感じることがあります。これはABSの作動によるもので、異常ではありません。ブレーキペダルをそのまま強く踏み続けてください。

♪アドバイス

エンジンをかけて発進した直後に、一時的にモーター音などが聞こえることがあります。これはシステムをチェックしている音で、異常ではありません。

4

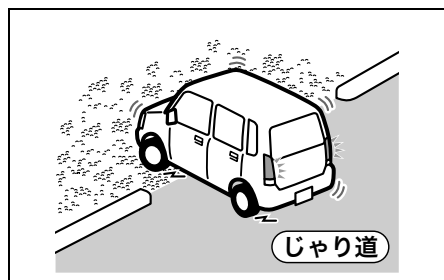
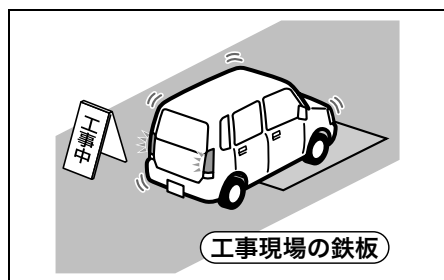
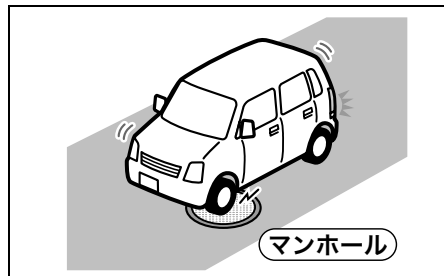
タイヤについて

▲ 警告

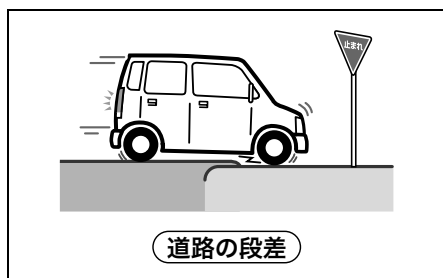
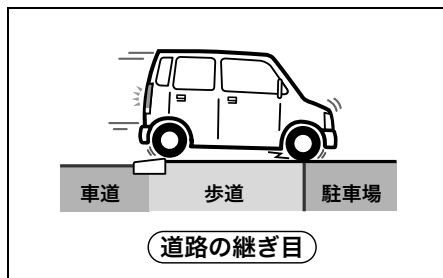
ABSは、各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。タイヤ交換時は指定のサイズで、4輪ともサイズ、銘柄、トレッドパターン（溝模様）が同一のものを装着してください。また、著しく摩耗状態の異なるタイヤを使用しないでください。正確な回転速度が検出できなくなってABSが正常に機能しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ABS は、こんな場合にもブレーキをかけると作動することがあります

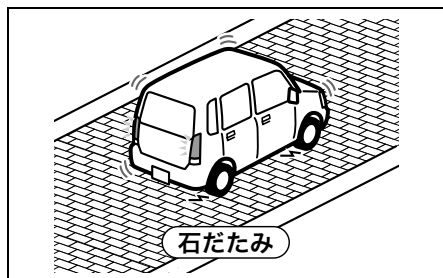
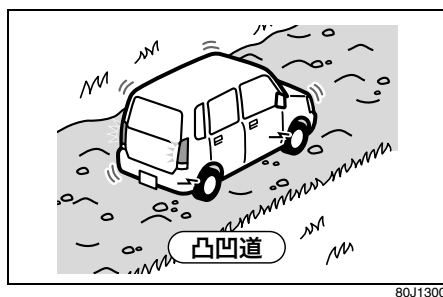
- 滑りやすい路面を走行しているとき



- 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき



- 悪路を走行しているとき



ABS警告灯



80J127

メーターパネル内にあります。

- ABSの電子制御システムに異常がある
と、エンジンスイッチが **[ON]** のとき
に点灯します。
→ **3-65ページ**
(警告灯・表示灯の見かた)

タイヤ空気圧警告システム

タイプ別装備

いずれか1輪のタイヤ空気圧が大幅に低下した状態で走行を続けたときに、メーター内のタイヤ空気圧警告灯が点灯し、運転者へ注意をうながすシステムです。

- 本システム装備車であっても日常点検項目である「タイヤ空気圧の点検」は必ず実施してください。
→ **2-2ページ**
(タイヤの空気圧をチェック)
→ **メンテナンスノート (日常点検)**
- タイヤチェーンを装着したときなどには、本システムが正常に作動しない場合があります。

⚠ 警告

空気圧低下の原因がパンクである場合があります。すみやかに安全な場所に停車し、タイヤを点検してください。
→ **7-2ページ (パンクしたときは)**

ⓘ アドバイス

このシステムは、タイヤの空気圧を直接測定して、空気圧の低下を判断するシステムではありません。空気圧が低下するとタイヤの外径寸法が小さくなるため、他のタイヤと比較して、走行中のタイヤ回転速度に差がみられます。このシステムは、その差を検出して、間接的に空気圧が低下していると判断します。そのため、停車時など走行していない間は空気圧の低下を検出できません。

タイヤ空気圧警告灯



70K123

メーターパネル内にあります。

- **3-65ページ**
(警告灯・表示灯の見かた)
- システムが正常で空気圧の低下が検出されていないときは、エンジンスイッチを **[ON]** にしたときに約2秒間点灯したあと消灯します。
- 次のような状況になると、エンジンスイッチが **[ON]** のときに点灯したままとなります。
 - ・ 走行中、いずれか1輪のタイヤ空気圧が大幅に低下したと判断されたとき
 - ・ システムに異常があるとき
- タイヤ空気圧警告システムの初期設定を行なったときは、約3秒間点滅します。

- 次のような場合はシステムが正常に作動しないため、空気圧が低下しても点灯しなかったり、空気圧が正常でも点灯したりすることがあります。

- 2 輪以上のタイヤ空気圧が同時に低下したとき
- 指定空気圧でない状態で、初期設定したとき
- 4 輪ともサイズ、銘柄、トレッドパターン（溝模様）が同一のタイヤを装着していないときや、摩耗状態が著しく異なるタイヤを装着しているとき
- 指定空気圧より高い空気圧で使用しているとき
- 走行中のバースト（破裂）などにより急激に空気圧が低下し、走行不能となったとき
- 荒れた路面や、凍結路などの滑りやすい路面を走行しているとき
- 約20km/h未満および約110km/hを超える速度で走行しているとき
- 約5分未満の短時間走行のとき
- ブレーキ装置の故障で、制動灯が正常に点灯・消灯しないとき
- 4 輪への荷重が著しく偏っているとき

注意

前記の場合以外で、空気圧を指定空気圧に調整後、初期設定したにもかかわらず、走行中に再点灯する場合はシステムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

タイヤ空気圧警告システムの初期設定が必要なとき

次のようなときは、必ずシステムの初期設定を行なってください。

- タイヤ空気圧の調整後
- タイヤまたはホイールの交換後
- タイヤのローテーション後
- メーター内のタイヤ空気圧警告灯が点灯したとき

→ 2-2ページ

（タイヤの空気圧をチェック）

→ 8-3ページ（タイヤ/ホイール）

■ タイヤ空気圧警告システムの初期設定のしかた

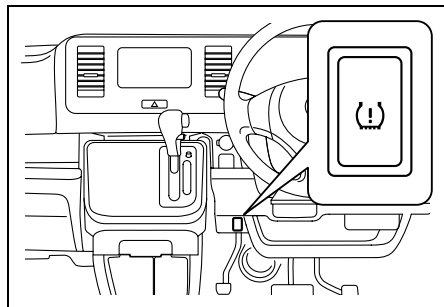
1 安全な場所に停車し、パーキングブレーキをしっかりとかけてエンジンを止めます。

2 4 輪ともタイヤ空気圧を指定空気圧に調整したあと、エンジンをかけます。

注意

必ず4輪とも指定空気圧に調整してください。指定空気圧に調整せずに初期設定を行なうと、タイヤ空気圧の正常な状態を検知できないため、システムが正常に作動しなくなる場合があります。

- 3 停車したままで、メーター内のタイヤ空気圧警告灯が点滅するまで運転席足元にあるタイヤ空気圧警告システムのリセットスイッチを押し続けます。



50M0078

▲ 注意

リセットスイッチを押し続けても、タイヤ空気圧警告灯が点滅しない、または点灯したままのときはシステムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

ℳ アドバイス

走行中にリセットスイッチを押しても、初期設定されません。

- 4 タイヤ空気圧警告灯の点滅を確認後、しばらく走行すると、システムがタイヤ空気圧の正常な状態を検知し、初期設定が完了します。

▲ 注意

初期設定が完了するまでは、タイヤ空気圧の低下を警報できません。

ℳ アドバイス

初期設定にかかる時間は、車速や路面状況などの条件により異なります。

アイドリングストップ

タイプ別装備

アイドリングストップは、信号待ちや渋滞などでの停車直前の減速時（車速約 9 km/h 以下）または停車時に、自動的にエンジンを停止・再始動させるシステムです。排出ガスの低減、燃費向上、エンジン騒音低下に役立ちます。

- 本システムは一定の条件のもとでブレーキペダルを踏んでいる間に限りエンジンを停止させるものです。長時間停車するときは、エンジンスイッチを操作してエンジンを停止してください。
- ヒルスタートアシストが装備されています。

→ 4-33ページ

（ヒルスタートアシスト）

▲ 注意

本システム装備車は、非装備車に比べて高性能な専用のバッテリーを使用していますので、次のことをお守りください。守らないと本システムが正常に作動しなくなったり、バッテリーの寿命が短くなったりするおそれがあります。（状況によっては、停車直前の減速時にエンジンが自動再始動しなくなり、ブレーキの効きが悪くなったりハンドルが重くなったりして思わぬ事故につながるおそれがあります）

- バッテリーを交換するときは、指定のバッテリーを使用する（指定外のものを使用しない）
→ 8-2ページ（サービスデータ）
- バッテリー端子から直接電気製品の電源をとらない

■ アイドリングストップ表示灯 (緑色)



メーターパネル内にあります。

→ 3-65ページ

(警告灯・表示灯の見かた)

- 走行中に、エンジンが自動停止する条件（スタンバイ条件）をみたすと点灯します。
- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを **[ON]** にしたときに、約2秒間点灯したあとと消灯します。

■ アイドリングストップ警告灯 (オレンジ色)



メーターパネル内にあります。

→ 3-65ページ

(警告灯・表示灯の見かた)

- 次のような状況になると、エンジンスイッチが **[ON]** のときに点灯します。
日産販売会社で点検を受けてください。
 - 本システムに異常があるとき
 - エンジン部品（スターター）やバッテリーが交換時期であるとき
- 本システムが正常な場合は、エンジンスイッチを **[ON]** にしたときに、約2秒間点灯したあとと消灯します。

⚠️ アドバイス

点灯すると、アイドルリングストップが作動しない場合があります。

エンジンの自動停止

■ エンジン自動停止のスタンバイ条件

エンジンが自動停止するには、事前に次のような条件をみたしている必要があります。条件をみたすと、アイドルリングストップ表示灯（緑色）が点灯します。

- バッテリーが十分に充電されていて、バッテリー内部が所定温度内にある
- エンジンが十分に暖まっていて、エンジン冷却水やCVTオイルが所定温度内にある
- 運転席シートベルトを着用している
- 運転席ドアが完全に閉まっている
- ボンネットが完全に閉まっている
- ボンネットが完全に閉まった状態でエンジン始動をしている
- アイドリングストップOFF スイッチを操作して、本システムを停止状態にしていない

→ 4-33 ページ（アイドルリングストップOFFスイッチ）

- セレクトレバーが **[D]** または **[N]** 位置
 - S（スポーツ）モードスイッチがOFF
- 4-17ページ

(S（スポーツ）モードスイッチ)

- ヒルスタートアシスト警告灯（オレンジ色）やブレーキ警告灯、ABS警告灯が点灯していない
- エンジン自動停止に関わる車体の電子制御システムが正常なとき

＜オゾンセーフオートエアコン (プッシュ式) 装備車＞

- 吹出し口温度が冷房時は十分に冷えていて、暖房時は十分に暖まっているとき
- デフロスタースイッチがOFF
→ 5-7 ページ (オゾンセーフオートエアコン (プッシュ式))

📌 アドバイス

車を長期間使用しなかったときなどでバッテリーが放電しているときは、スタンバイ状態になるまでに時間がかかることがあります。

■ エンジン自動停止の条件

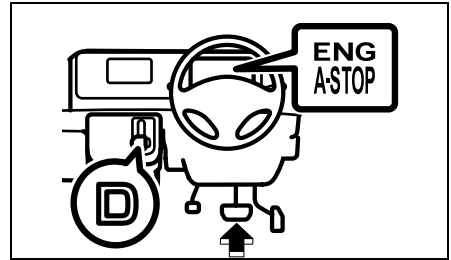
前記のスタンバイ条件に追加して、次のような条件をみたと、停車直前の減速時または停車時にエンジンが自動停止します。このときアイドリングストップ表示灯 (緑色) は点灯したままです。

停車直前の減速時

- 車速が約9 km/hになったとき
- ブレーキペダルを踏んでいる
- 平坦路で急減速していない
- アクセルペダルを踏んでいない
- ハンドルがほぼ直進状態で、ハンドル操作をしていない

停車時

- 走行後の停車時
- ブレーキペダルを踏んでいる
- アクセルペダルを踏んでいない
- ハンドルがほぼ直進状態で、ハンドル操作をしていない



エンジンの自動停止中に運転席シートベルトを外し、運転席ドアを開けると室内ブザーが“ピー、ピー、”と断続的に鳴ります。ドアを閉め、ベルトを着用してください。

📌 アドバイス

- エンジン自動停止の条件は、停車直前の減速時と停車時で異なりますので、停車直前の減速時にエンジンが自動停止しなくても、停車時にエンジンが自動停止することがあります。
- エンジンの自動停止中でもオーディオなどの電装品は使用できますが、エアコンは送風に切り替わります。
- オゾンセーフオートエアコン (プッシュ式) 装備車の場合、冷暖房性能を長持ちさせるため、エンジン自動停止中の風量 (自動制御時のみ) に制限がかかります。

■ エンジンが自動停止しないとき

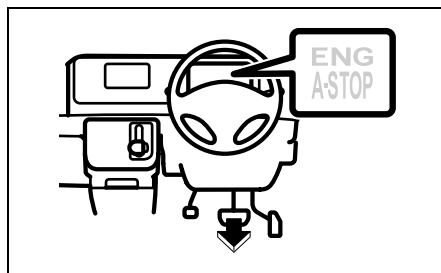
前記の条件をみたしていても、次のような場合は停車直前の減速時または停車時にエンジンが自動停止しません。

停車直前の減速時

- 坂道での減速時
- ブレーキ倍力装置の負圧が低い
- ブレーキペダルの踏みかたが弱い
- ABSが作動したとき

停車時

- 急な坂道での停車時
- ブレーキ倍力装置の負圧が低い
- ブレーキペダルの踏みかたが弱い
- ABSが作動して、停車したとき



50M1002

アドバイス

- ハンドル操作時のエンジン自動再始動条件は、操作量ではなく操舵力となります。このため、再始動するハンドル操作量は、路面状況や乗車人数によって変化する場合があります。
- オーディオの音量が大きいと、エンジンの再始動時に音が途切れることがありますますが異常ではありません。

エンジンの自動再始動

エンジンの自動停止中に次のいずれかの操作をすると、エンジンが自動的に再始動します。このときアイドリングストップ表示灯（緑色）が消灯します。

- ブレーキペダルから足を離す
- アクセルペダルを踏む
- ハンドル操作をする
- セレクトレバーを **[P]** **[R]** または **[L]** に入れる
- セレクトレバーを **[N]** に入れたあと **[D]** にもどす
- S（スポーツ）モードスイッチをONにする

→ 4-17ページ

(S（スポーツ）モードスイッチ)

- アイドリングストップOFFスイッチを操作して、本システムを停止状態にする

→ 4-33 ページ **(アイドリングストップOFFスイッチ)**

■ エンジン強制再始動の条件

エンジンの自動停止中に次のような状況になると、ブレーキペダルを踏んでもエンジンが自動的に再始動します。このときアイドリングストップ表示灯（緑色）が点滅したあと消灯します。

- バッテリーの放電が進んだとき
- ブレーキ倍力装置の負圧が低下したとき
- 本システム以外の異常を検出したとき
- エンジンが自動停止してから、数分経過したとき（最長2分程度）

< 停車直前の減速時 >

- ボンネットを開けたとき
- 道路の勾配が急変したとき
- セレクトレバーを **[N]** に入れたとき

< 停車時 >

- 坂道などで車両が動き出したとき

＜オゾンセーフオートエアコン（プッシュ式）装備車＞

- エンジン自動停止後、吹出し口温度が大きく変化し、冷暖房性能が十分でなくなったとき
- 温度調節ダイヤルを冷房時は COOL 側、暖房時はHOT側に大きくまわしたとき
- デフロスタースイッチをONにしたとき
→ **5-7 ページ（オゾンセーフオートエアコン（プッシュ式））**

■ エンジンが自動再始動しないとき

エンジンの自動停止中に次のような状況になると、安全のため室内ブザーが2回鳴って通常のエンジン停止状態となります。エンジンは自動再始動しませんので、エンジンスイッチを操作して再始動してください。

- ボンネットを開けたとき
- 本システムの異常を検出したとき（アイドリングストップ警告灯（オレンジ色）が点灯）

🔊 アドバイス

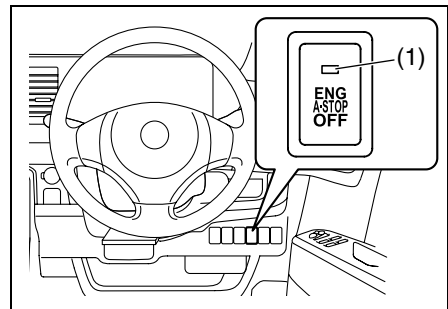
メーターパネル内の次の警告灯は、エンジンの自動停止中は点灯しませんが、通常のエンジン停止状態になると点灯します。

- エンジン警告灯
- パワーステアリング警告灯
- 油圧警告灯
- 充電警告灯
- アイドリングストップ警告灯（本システムの異常検出時）
→ **3-65ページ**
（警告灯・表示灯の見かた）

アイドリングストップ OFF スイッチ

本システムを停止状態にできます。

- システムを停止状態にするときは、スイッチを押してスイッチ内の表示灯（1）を点灯させます。
- システムを作動可能な状態にもどすときは、もう一度スイッチを押してスイッチ内の表示灯を消灯させます。
- 手でエンジンを停止するたびに、システムは作動可能な状態にリセットされ、スイッチ内の表示灯は消灯します。



50M0208

🔊 アドバイス

エンジンの自動停止中にスイッチを押すと、スイッチ内の表示灯が点灯し、エンジンが自動再始動します。

ヒルスタートアシスト

タイプ別装備

ヒルスタートアシストは、急な上り坂での発進時に、ブレーキペダルからアクセルペダルへの踏み替えの間に車が後退することを一時的に（約2秒間）防ぎ、スムーズな発進を補助するシステムです。

- ヒルスタートアシストは、坂道で車を停止させるシステムではありません。

⚠ 警告

- 常に周囲の状況を確認して、必要に応じてブレーキペダルを操作して安全運転に努めてください。ヒルスタートアシストによる制御には限界があります。
- 極端に急な坂道、凍結路、泥道を上るときや、積載重量によっては、発進時に車両が後退する場合があります。
- ブレーキペダルから足を離したら、すみやかに発進操作を行ってください。ブレーキペダルから足を離したまま2秒以上たつとヒルスタートアシストが解除されるため、勾配によっては自重で坂道を下り、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、エンストしてブレーキを踏むときに強い力が必要になったり、ハンドルが重くなったりして思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

■ ヒルスタートアシストの作動条件

ヒルスタートアシストは、次の条件をすべて満たしているときに、ブレーキペダルから足を離すと約2秒間、車が後退することを防ぎます。

- セレクトレバーが前進または後退の位置に入っている
- パーキングブレーキを解除している
- 進行方向が坂の上りである

アイドルリングストップ装備車の場合、前記条件をみたしていなくても、エンジン自動停止後の再始動時ならヒルスタートアシストが作動します。

→ 4-29ページ (アイドルリングストップ)

🔊 アドバイス

作動中にエンジンルームから音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

■ ヒルスタートアシスト警告灯 (オレンジ色)



82K170

メーターパネル内にあります。

→ 3-65ページ

(警告灯・表示灯の見かた)

- 本システムに異常があると、エンジンスイッチが **[ON]** のときに点灯します。日産販売会社で点検を受けてください。
- 本システムが正常な場合はエンジンスイッチを **[ON]** にしたときに、約2秒間点灯したあと消灯します。

🔊 アドバイス

点灯すると、アイドルリングストップは作動しません。また、ヒルスタートアシストも作動しない場合があります。